科目名			コンピュータ	/概論	大学 一般	シネス専門学校 シラバス
担当教員		村島 敏治		実務授業の有無	:	無
対象学科		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選	択	必修	単位数		時間数	60
授業概要、 授業の進		<ol> <li>コンピュータのハードウェアに関す</li> <li>コンピュータの基本ソフトに関する</li> </ol>				
学習目標	T)	1. コンピュータシステムの概要を理解		技術者能力認定試験3線	吸レベルの知識を習得する	5。3. 情報処理技術者能
(到達目体	<sub>漂)</sub> ・教材・参考図書・	力認定試験 2 級レベルの知識を習得する	0			
	その他資料	ウイネット コンピュータ概論+情報処	理技術者能力認定試	験3級問題集+情報処理	里技術者能力認定試験2級	<b>及問題集、その他配布資料</b>
回数		授業項目、內容			学習方法・準備学習・備	拷
1~3	コンピュータの基礎	知識		コンピュータの種類と5大	装置を理解する。	
4~6	コンピュータの数値	表現①		コンピュータ内部の情報表	現を理解する。	
7~10	コンピュータの数値	表現②		基数変換(2進数、8進数	、16進数、10進数)を理解	まする。
11~13	コンピュータの数値	表現③		補数の使われ方、作り方を		
14~17	コンピュータの数値	表現④		2進化10進数、浮動小数点 フトなどを理解する。	表現などの数値表現。オーバ-	-フロー、アンダーフロー、シ
18~20	ハードウェア①				構造、各種アドレス指定方式を	理解する。
21~24	ハードウェア②			論理演算と論理素子の働き	、論理式、ベン図、真理値表、	回路図を理解する。
25~27	ハードウェア③			記憶装置(メモリ)と高速 解する。	化技術(キャッシュメモリ、メ	モリインターリブなど)を理
28~30	ハードウェア④			インターフェースの種類と	特徴を理解する。	
31~34	ハードウェア⑤			入出力装置、補助記憶装置	について理解する。	
35~38	システム構成要素①			IS)について理解するとともに	、MTBF、MTTR、稼働率など	
39~41	システム構成要素②		の計算方法を学ぶ。 システムの構成(水平分散	、垂直分散、機能分散、負荷分	・ 散など)について理解する。	
42~44	システム構成要素③		高信頼化技術(各種多重化	システム、RAID)について理解	解する。	
45~48	ソフトウェア			ソフトウエアの種類とOS 管理、入出力管理など)を		ジョブ管理、タスク管理、記憶
49~51	マルチメディア			日達、人出力音達など)を建解する。     マルチメディア(音声処理、画像処理、仮想現実など)について理解する。		
52~53	AI(人工知能)			AI(人工知能)技術とその使われ方(エキスパートシステム、機械学習、ニューラル		
54~56	アルゴリズムとデー	タ構造①		ネットワーク、ディーブラーニングなど)を理解する。 データ構造 (配列、リスト、キュー、スタック、木構造) について理解する。		
57~60	アルゴリズムとデー	タ構造②		アルゴリズムの表現方法 ( サーチ) について理解する	フローチャート、疑似言語)と	基本アルゴリズム(ソート、
				ッーナ) について 埋解する	0	
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意	
	0%、平常点40% *進は A(80点以上)・1	B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下	)とする			区別しながら学習する。 知識・理解が不十分な場
					C C 13 40,50°	
実務	経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発の	)現場において8年	間係わっていた		

利日夕			システム開乳	※技術	長岡公務員・情報ビジ	ジネス専門学校 シラバス	
科目名 担当教員		村島・敏治	ノヘ厂ム開発	実務授業の有無		無	
対象学科		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	大切以来 <sup>0</sup> 行無	開講時期	前期	
必修・選	択	必修	単位数		時間数	36	
授業概要、 授業の進 学習目標	め方	<ol> <li>データベースに関する知識を習得</li> <li>ネットワークに関する知識を習得</li> <li>情報セキュリティに関する知識を</li> <li>データベース、ネットワーク、セ</li> </ol>	する。 習得する。	理解する。 2 。情報処理	里技術者能力認定試験 3	3級レベルの知識を習得	
(到達目)	標)	する。3.情報処理技術者能力認定試験	験2級レベルの知識	を習得する。			
	・教材・参考図書・ その他資料	ウイネット システム開発技術+情報が 布資料	心理技術者能力認定	試験3級問題集+情報处	1理技術者能力認定試驗	矣2級問題集、その他配	
回数		授業項目、内容			学習方法・準備学習・作		
1	データベース①			モデルなどを理解する。		、関係モデル)と3層スキーマ	
2~3	データベース②			キー)と基本操作(選択、	射影、結合)を理解する。	アトリビュート、主キー、外部	
4~5	データベース③			関係データベースの正規化 解する。	手法(第1正規形、第2正	規形、第3正規形)について理	
6~7	データベース④			SQLの基本文法(CREATE ALTER TABLE)を理解する		T. DELETE, UPDATE,	
8~10	データベース⑤			SQLの応用文法(JOIN、副		ーソル)を理解する。	
11~12	データベース⑥			関係データベースの演算(			
13~15	データベース⑦			データベース管理システム 実行制御、保全機能、回復		(トランザクション管理、同時 )。	
16~17	データベース⑧			データベースの応用技術(ど)を理解する。	データウエアハウス、デー	ァ。 タマイニング、ビックデータな	
18	ネットワーク①			ネットワーク方式(LAN、WAN、インターネット、FTTH)や接続形態(トポロ ジー)について理解する。			
19~20	ネットワーク②					接続装置(ゲートウエイ、ルー	
21~22	! ネットワーク③			TCP/IPの仕組みとポート			
23~24	4 ネットワーク④					とプライベートIPアドレスの違	
25	ネットワーク⑤			· ·	レス管理、ドメイン名管理	、SNMPなど)について理解す	
26	ネットワーク⑥			る。 TCP/IPで使用されるアプ	リケーションについて理解	する。	
27	ネットワーク⑦			ネットワーク応用技術(VPN、SDN、VoIP、LTE、LPWAなど)について理解する。			
28	情報セキュリティ①	)		情報セキュリティの目的、脆弱性、不正のメカニズムなどを理解する。			
29~30	情報セキュリティ②			システムへの攻撃手法(攻撃者、マルウエア・不正プログラム、パスワード解析、各 種攻撃手法)について理解する。			
31~32	情報セキュリティ③					ブリッド暗号方式)について理	
33	情報セキュリティ④			認証技術、利用者認証につ	いて理解する。		
34	情報セキュリティ⑤				アプロトコル、不正アクセ	ス対策、ウイルス対策)につい	
35	情報セキュリティ⑥				ュリティアセスメント、セ	キュリティインシデントについ	
36	情報セキュリティク	-		· ·		ティー機関、セキュリティー評	
				価、セキュリティー対策)	について埋解する。		
						_	
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
	:0%、平常点40% を 基準は、A(80点以上)・	B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以	(下)とする。		でなく、その意味も考	-つ区別しながら学習す fえる。知識・理解が不十	
実務	経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発	の現場において8	年間係わっていた			

科目名			?ネジメント		旧拟ことかへも		
担	当教員	西海 智久	<u> </u>	<b>実務授業の有無</b>	務授業の有無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無		
文	対象学科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期	
必	修・選択	必修	単位数		時間数	72	
	授業概要、目的、 担業の進め方 1. 開発技術に関する知識を習得する。 2. ストラテジー、マネジメントに関する知識を			を習得する。			
	学習目標 川達目標)	<ol> <li>システム開発、マネジメント 得する。</li> <li>情報処理技術者能力</li> </ol>				3級レベルの知識を習	
	テキスト・教材・参考 図書・その他資料 ウイネット マネジメントと情報化+情報処理技術者能力認定試験3級問題集+情報処理技術者能力認 2級問題集、その他配布資料				理技術者能力認定試験		
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習・備考	
1~3	システム開発とマ	ネジメント		レビュー、ウォー ル、アジャイルな		ル、スパイラルモデ	
4~8	システム開発とマ	ネジメント			ペアプログラミン 、シーケンス図な	グ、決定表、E-R図、 どを学ぶ	
9~12	システム開発とマ	ネジメント		ヒューマンインタ	フェース、コード	設計、モジュール分	
13~16	16 システム開発とマネジメント				割、モジュール強度、モジュール結合度などを学ぶ。 オブジェクト指向、カプセル化、ポリモフィズム、などを 学ぶ。		
17~20	0 システム開発とマネジメント			ホワイトボックス イアグラムなどを		、PMBOK、アローダ	
21~24	4 サービスマネジメントとシステム戦略			ITIL、SLA、サート	ごスの管理と移行な	らどを学ぶ。	
25~28	8 サービスマネジメントとシステム戦略		システム監査、ガ	バナンス、システ.	ム戦略、などを学ぶ。		
29~32	サービスマネジメ	ントとシステム戦略		クラウドサービス	、ビッグデータ、	要件定義などを学ぶ。	
33~36	企業と経営戦略				コーポレートアイデンティティ、コーポレートガバナン ス、ワークライフバランス、などを学ぶ。		
37~40	企業と経営戦略			経営組織、経営戦 ン、などを学ぶ。			
41~44	企業と経営戦略			コアコンピタンス、M&A、SWOT分析、マーケティングなどを学ぶ。			
45~48	企業と経営戦略			R&A、Society5.0、MRP、CAD、EDI、などを学ぶ。			
49~52	OR · IE				順列、組合せ、確率、分散、標準偏差、待ち行列、線形計画法、QC、などを学ぶ。		
53~56	企業会計			損益分岐点、財務	損益分岐点、財務諸表、キャッシュフロー、などを学ぶ。		
57~60	法務と標準化			知的財産権、著作	権、などを学ぶ。		
61~64	法務と標準化			·	法、個人情報保護		
65~68	法務と標準化			プロバイダ責任制 法などを学ぶ。	限法、労働基準法、	、労働者派遣法、下請	
69~72	法務と標準化			コンプライアンス	、ISO、JISなどを <sup>i</sup>	学ぶ。	
	評句	西方法・成績評価基準			履修上の注意	i.	
検定結果60	0%、平常点40%			BB 7V ++-/2"	_,	71== *	
成績評定基 る。	準は、A(80点以上	)・B(65点以上)・C(51点以上)・[	)(50点以下)とす			、ストラテジーに関する	
実務経	験教員の経歴	_					

科目名			プログラム	設計			
担当教員		村島 敏治		実務授業の有無		無	
対象学科		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期	
必修・選	沢	必修	単位数		時間数	48	
授業概要、授業の進		フローチャート、疑似言語の使い方を習得し、	基本的なアルゴリズ』	ムを学習する。			
学習目標(到達目標)	票)	探索処理や整列処理などの代表的なアルゴリン	ズムの手順、特徴を理解	解する。			
	・教材・参考図書・その他資料	ウイネット アルゴリズムとデータ構造 インフォテックサーブ 疑似言語で学ぶアル: その他配布資料	ゴリズム(家庭学習用)				
回数		授業項目、内容		<u> </u>	学習方法・準備学習	・備考	
1~2	アルゴリズム入門			アルゴリズムの考え方、 復) を理解する。	データ型、領域(変数)	、基本構造(連続、選択、反	
3~5	流れ図の基本パターン				の記述形式を学び、基	本構造(連続、選択、反復)を	
6~7	疑似言語の基本パターン			疑似言語の記述形式(宣	言部、処理部)を学習す	る。	
8~11	計算のアルゴリズム			基本的なアルゴリズム (な することで理解を深める。		大・最小)を学び、問題演習を	
12~15	手続・関数			関数の作り方、引数、戻	り値について理解する。		
16~20	配列の操作			で理解を深める。		を学習し、問題演習をすること	
21~25	探索のアルゴリズム			線形探索、プロック探索、2分探索、ハッシュ探索を学習し、問題演習をすることで理解を深める。			
26~32	26~32 整列のアルゴリズム			で理解を深める。		を学習し、問題演習をすること	
33~36	オブジェクト指向プログ	ラミングの基本パターン		バーロードを理解する。		スとオブジェクト、継承、オー	
37~40	データ構造			で理解を深める。		を学習し、問題演習をすること 、問題演習をすることで理解を	
41~48	実践アルゴリズム			を 深める。	のアルコリスムを子音し	、问起演首をすることで理解を	
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
	%、平常点40% 隼は、A(80点以上)・B(65	点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。		問題演習を通して、理解を 知識・理解が不十分な場合!		<b>ある</b> 。	
実務	経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発の	の現場において8年	間係わっていた	·		

	•				区凹 A 仍 具 * 用 *	報こン不入専门子仪 ンプハス		
科目名				C言語				
担当教員		村島 敏治		実務授業の有無		無		
対象学科		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期		
必修・選	択	必修	単位数		時間数	89		
742 AP 1011 AE		a = +-			16-bra	1/5 / 5		
授業概要 授業の進		C言語の基本文法を理解し、構造体 C言語実習   の授業時間と補完しな		:どの埋解を深める。各貧	格試験に必要な知識を習	得する。		
技業の進	( ( ده.	0日 品大日 1 の1文末时间 2 冊 几 しな	かり進める。					
学習目標	<u> </u>	1. C言語プログラミング能力認定試験 3級レベ	いの知識を習得する。					
(到達目		2. C言語プログラミング能力認定試験2級レベ 3. 基本的なC言語プログラムの作成手法を習得						
テキス	ト・教材・参考図	インフォテックサーブ Cプログラ						
書	・その他資料	ウイネット C言語プログラミング	が能力認定試験3線	吸問題集、C言語プログラ	ミング能力認定試験2級	吸問題集		
回数		授業項目、内容			学習方法・準備学習・	備考		
1~3	C言語の基本				)基本構成、関数、ブログラム	、の構成単位、データ、データ型と変		
4~6	データの入力と出	+		数の宣言などを学ぶ。 printf関数、定数の出力、コ	ントロール・キャラクタ、変数	数の内容出力、基本的な演算、変数の		
				初期化、scanf関数などを学 構造化プログラミング、連接		比較演算子、ネスト、複合条件、		
7~11	フログラムの基本	コグラムの基本構造①			: 泛学:	for文、getchar関数、putchar関数、		
12~16	プログラムの基本構造②			break文、continue文、三項	演算子などを学ぶ。			
17~22	! 関数			プログラムのモジュール化、 バル変数とローカル変数、再		:戻り値、プロトタイプ宣言、グロー		
23~28	配列①					多次元は配列の初期化などを学ぶ。		
29~33	配列(2)					(字、文字列操作関数、文字列分類関		
				数、文字変換関数などを学ぶ ポインタとポインタ変数、オ		<b>-</b> - - - - - - - - - - - - - - - - - -		
	3 ポインタ①			ンタ変数と文字型配列などを		.、多次元配列の引き渡し、などを学		
39~43	ポインタ②			.š* <sub>0</sub>				
44~48	3 ポインタ③			ポインタ配列、コマンドライ				
49~53	3 データ型変換と記憶クラス			自動型変換、キャスト演算子	- 、記憶クラス、変数のスコー	- プ、シフト演算、論理演算などを学		
54~58	8 プリプロセッサ		プリプロセッサとブリプロセ における注意点、#includeな		義、引数付きマクロ定義、マクロ定義			
59~64	構造体と共用体①	)			sizeof演算子、typeof演算子:			
65~71	構造体と共用体②	)				『一タ参照、リスト構造におけるポイ		
		,		ンタ変数、malloc関数、共用体、列挙型などを学ぶ。 ファイル処理の概要、ファイルの種類と使用方法、ストリーム、FILE構造体とファイルのオー				
	ファイル処理①			ブン・クローズ、ファイルポインタなどを学ぶ				
81~89	ファイル処理②			ファイルの入出力、1文字単位の入出力、1行単位の入出力、書式付き入出力などを学ぶ。				
				<u> </u>				
		<del></del>						
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
検定結果	60%、平常点40%							
				知識・理解がエエハル	見合け 婦羽極光を行き	マレがなる		
	基準は、A(80点以上	e)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(	(50点以下)とす	川郎・生胜か个十分なる	場合は、補習授業を行う	⊂ ⊂ 11·00 ⊗°		
る。								
宝数约	区除数号の経歴	エンジーアレー アソフトウェア	<b>関発の用提にせい</b>	て8年間区わっていた				

科目名			C言語実習	3 3		
担当教員		村島 敏治		実務授業の有無		無
対象学科		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選	沢	必修	単位数		時間数	92
授業概要、授業の進		課題プログラムの作成を通し、C言語基本文》 進める。	去の理解を深める。同時	に実行、テスト、デバック	プの手法を理解する。 C 言	語の授業時間と補完しながら
学習目標		実習課題のプログラムを作成、実行、テスト	できる。			
(到達目	****					
	・教材・参考図書・その他資料	配布資料 (オリジナル課題) インフォテックサーブ Cプログラミング (	章末練習問題)			
回数		授業項目、内容		<u>ë</u>	学習方法・準備学習	・備考
1~4	C言語開発環境について			実習で使用するPCの開発	環境を整える。	
5~9	データの入力と出力に関 (Printf/scanf)			第2章プログラミング問	題を作成し提出する。	
10~15	プログラムの基本構造に関する実習 (順次、選択、繰り返し、演算子)			第3章プログラミング問	題を作成し提出する。	
16~22		ク、プロトタイプ宣言、再帰呼び出し)		第4章プログラミング問	題を作成し提出する。	
23~32	配列に関する実習 (一次元配列、多次元配	列、文字型配列、文字列関数)		第5章プログラミング問	題を作成し提出する。	
33~45				第6章プログラミング問題を作成し提出する。		
46~60	(データ型変換、スコープ、ビット演算)		第7章プログラミング問	題を作成し提出する。		
61~68	(#include、 #define)			第8章プログラミング問	題を作成し提出する。	
69~80	(構造体、共用体、列挙体)			第9章プログラミング問	題を作成し提出する。	
81~92	22 ファイル処理に関する実習(ファイル構造体、ファイルポインタ、文字単位入出力、行単位入 出力)		第10章プログラミング	問題を作成し提出する。		
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意	
		A LINE AND A LINE TO L			/IX.   J = - 7/12/IX	
	%、平常点25% 隼は、A(80点以上)・B(65	点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。		実習課題の提出期限を厳守	する。	
実務	経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発	の現場において8年	<u> </u> 間係わっていた		

科目名			秋期国家試験対策	(¥  ∃ ∧ )	及門五切貝 旧報こと	/不入専门子仪 ソノハス
		T- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /-	<b></b>		1	for
担当教員		西海 智久	特色学生	実務授業の有無		無
対象学科 必修・選	-a	情報システム科/IT大学併修科 必修	対象学年 単位数	1	開講時期 時間数	前期、後期 105
必修・選:	<u> </u>	北市	<b>单位数</b>		时间数	105
授業概要、	目的					
授業の進		基本情報技術者試験科目Aの合格に必	要な知識を学ぶ。			
学習目標			1/2 / 2			
基本情報技術者試験レベルの知識を習得する。						
テキスト	・教材・参考図書・	基本情報技術者試験 過去問題(科目	(4問題)			
	その他資料	THE PART DANG (NE	T (IPJAZ)			
回数		授業項目、内容			学習方法・準備学習・	備考
1~9	第1回模擬試験及び	解説		問題演習の解説。		
10~18	第2回模擬試験及び	解説		問題演習の解説。		
19~27	第3回模擬試験及び	 《解説		問題演習の解説。		
28~36		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		問題演習の解説。		
	第5回模擬試験及び			問題演習の解説。		
	第6回模擬試験及び			問題演習の解説。		
	第7回模擬試験及び			問題演習の解説。		
64~72	第8回模擬試験及び	解説		問題演習の解説。		
73~81	第9回模擬試験及び	解説		問題演習の解説。		
82~90	90 第10回模擬試験及び解説			問題演習の解説。		
91~99	99 第11回模擬試験及び解説			問題演習の解説。		
100~105	- 105 第12回模擬試験及び解説			問題演習の解説。		
			<u>-</u>			
				1		
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意	
検定結果6	0%、平常点40%					
_+				知識・理解が不十分	な場合は、補習授業を行	ŗうことがある。
<u> </u>	೬準は、A(80点以上)・	B(65点以上) · C(51点以上) · D(50点	<b>メト)とする。</b>			
中郊	(経験数量の経歴			•		

科目名			秋期国家試験対策	(科目B)	风间互劢员 旧报亡	
担当教員		村島 敏治		実務授業の有無		無
対象学科		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期、後期
必修・選	択	必修	単位数		時間数	105
授業概要 授業の進		基本情報技術者試験科目Bの合格に必要	<b>戸な知識を学ぶ。</b>			
学習目標 (到達目	標)	基本情報技術者試験レベルの知識を習得	得する。			
	・教材・参考図書・ その他資料	基本情報技術者試験 過去問題(科目	3問題)			
回数		授業項目、内容		ė	学習方法・準備学習・	備考
1~9	第1回模擬試験及び	解説		問題演習の解説。		
10~18	第2回模擬試験及び	·解説		問題演習の解説。		
19~27	第3回模擬試験及び	解説		問題演習の解説。		
28~36	第4回模擬試験及び	<b>ド解説</b>		問題演習の解説。		
37~45	第5回模擬試験及び	解説		問題演習の解説。		
46~54	第6回模擬試験及び	解説		問題演習の解説。		
55~63	第7回模擬試験及び	解説		問題演習の解説。		
64~72	第8回模擬試験及び	·解説		問題演習の解説。		
73~81	第9回模擬試験及び	·解説		問題演習の解説。		
82~90	第10回模擬試験及	 とび解説		問題演習の解説。		
91~99 第11回模擬試験及び解説			問題演習の解説。			
100~105	第12回模擬試験及	 bび解説		問題演習の解説。		
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意	
検定結果6	50%、平常点40%			知識・理解が不十分な	場合は、補習授業を行	
成績評定	基準は、A(80点以上)・	B(65点以上) · C(51点以上) · D(50点以	(下)とする。			
実務	経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発のヨ	見場において8年間	<u></u> 系わっていた		

科目名			春期国家試験対策	(科目A)	风间五仞泉 旧秋日			
担当教員		西海 智久		実務授業の有無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無無				
対象学科		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1年~2年	開講時期	1年後期、2年前期		
必修・選	択	必修	単位数		時間数	90		
177 <del>177</del> 100 <del>215</del>	D 45	基本情報技術者試験科目Aの合格に必要						
授業概要、 授業の進		応用情報技術者試験午前の合格に必要 ※本科目は基本情報技術者試験または		のどちらかを選択し受	<b>港</b> する			
以来の進	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	※1年次3月から2年次4月にかけ学						
学習目標		基本情報技術者試験レベルの知識を習	 得する。					
(到達目)		応用情報技術者試験レベルの知識を習						
	・教材・参考図書・ その他資料	基本情報技術者試験 過去問題(科目 応用情報技術者試験 過去問題(午前						
回数	ての他員件	授業項目、内容	印起/		学習方法・準備学習	· 備考		
	第1回模擬試験及び			問題演習の解説。	3 11,3 14			
10~18	第2回模擬試験及び			問題演習の解説。				
19~27	第3回模擬試験及び			問題演習の解説。				
28~36	第4回模擬試験及び	解説		問題演習の解説。				
37~45	第5回模擬試験及び	·解説		問題演習の解説。				
46~54	第6回模擬試験及び	· 解説		問題演習の解説。				
55~63	第7回模擬試験及び	· 解説		問題演習の解説。				
64~72	第8回模擬試験及び	解説		問題演習の解説。				
73~81	81 第9回模擬試験及び解説			問題演習の解説。	問題演習の解説。			
82~90	-90 第10回模擬試験及び解説			問題演習の解説。				
		□/□十十			<b>尼坡上水等</b>			
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
検定結果6	0%、平常点40%			to set make the set of	. I. A. I. J. J. Sept. 100	/= > - 1 /*+ -		
成績評定基	基準は、A(80点以上)・	B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以	以下)とする。	知識・理解が不十分な	ぶ場合は、裲習授業を	付つことがある。		
	経験教員の経歴		.,					

科目名			春期国家試験対策	(利日B)	及阿五切克 旧私こ	・ンイス専门子仪 ンプハス
担当教員		村島・敏治	<b>各</b> 期国	実務授業の有無		無
対象学科		村島	対象学年	夫務投業の有無 1年~2年	開講時期	無 1年後期、2年前期
必修・選	<del></del>	必修	単位数	1+ - 2+	時間数	90
授業概要、授業の進	、目的、	基本情報技術者試験科目Bの合格に必要 応用情報技術者試験午後の合格に必要 ※本科目は基本情報技術者試験または ※1年次3月から2年次4月にかけ学	要な知識を学ぶ。 な知識を学ぶ。 応用情報技術者試験		講する。	30
学習目標	讏)	基本情報技術者試験レベルの知識を習 応用情報技術者試験レベルの知識を習				
テキスト		基本情報技術者試験 過去問題(科目 応用情報技術者試験 過去問題(午後	B問題)			
 回数	100000	授業項目、内容	INJAZ/		学習方法・準備学習	· 備老
	第1回模擬試験及び			問題演習の解説。	1677/X FM 16	
10~18	第2回模擬試験及び			問題演習の解説。		
	第3回模擬試験及び			問題演習の解説。		
28~36	第4回模擬試験及び	解說		問題演習の解説。		
37~45	第5回模擬試験及び	解説		問題演習の解説。		
46~54	第6回模擬試験及び	<b>ド解説</b>		問題演習の解説。		
55~63	第7回模擬試験及び	·解説		問題演習の解説。		<u> </u>
64~72	第8回模擬試験及び	解說		問題演習の解説。		
73~81	第9回模擬試験及び	· 解説		問題演習の解説。		
82~90	第10回模擬試験及	 とび解説		問題演習の解説。		
						_
						-
						_
		-				
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意	
		A STATE OF THE STA				
	0%、平常点40% 基準は、A(80点以上)・	B(65点以上) · C(51点以上) · D(50点以	八下)とする。	知識・理解が不十分	な場合は、補習授業を	行うことがある。
中郊	公野茶さり公民	エンジェアレーアソフトウェア問祭の	TO 18 /= hv . ~ 0 /= 88 /2			

科目名			Javaプログラミ	ミング		
担当教員		村島 敏治		実務授業の有無		無
対象学科		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選	沢	必修	単位数		時間数	52
授業概要、	目的、					
授業の進む	め方					
授業形態		対面授業にて実施				
学習目標						
(到達目	票)					
テキスト・	教材・参考図書・その他 資料	ソーテック社 いちばんやさしいJava入門教	室			
回数		授業項目、内容		5	学習方法・準備学習	・備考
1	Javaの基本操作法			実行環境の準備とその使	い方、基本的なプログラム	ム記述について学ぶ。
2~3	変数			変数、演算子、データ型	について学ぶ。	
4~5	条件分岐			if文、switch文、論理式に	こついて学ぶ。	
6~7	繰り返し 1			for文、while文、do文に・	ついて学ぶ。	
8~10	0 配列			配列の扱いを学ぶ。		
11~15	5 メソッド			メソッドの定義、使い方について学ぶ。		
16~18	18 JDKの使い方			Java統合開発環境の準備	とその使い方を学ぶ。	
19~23	クラスについて			オブジェクト指向プログ	ラミングにおけるクラス0	の考え方を学ぶ。
24~30	GUIとグラフィック			AWT⋅Swing⋅JavaFXの	機能と使い方を学ぶ。	
31~36	スレッド			スレッドを使用しての並	列処理・同期について学。	5%
37~42	ファイル操作と日時の使	い方		ファイルへのデータの入出力及び日時を扱うクラスについて学ぶ。		
43~52	アプリケーション開発演	習		テキストエディタプログラムの作成を通しJavaプログラミングの理解を深める。		
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意	
	是出課題75%、平常点25% 現績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。			実習課題の提出期限を厳守	する。	
実務	経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発の現	場において8年間係れ	- りっていた		

科目名			午前免除対	策		
担当教員		村島 敏治/西海 智	久	実務授業の有無		無
対象学科		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選	沢	必修	単位数		時間数	68
授業概要、 授業の進		基本情報技術者試験 免除対象講座認定制度	『終了試験の合格に必要	ēな知識を学ぶ。		
学習目標(到達目標)	票)	基本情報技術者試験 免除対象講座認定制度	₹ 終了試験レベルの知識	<b>表を習得する。</b>		
	・教材・参考図書・ その他資料	基本情報技術者試験 過去問題(科目A問題	)			
回数		授業項目、内容		i i	学習方法・準備学習・	·備考
1~6	第1回模擬試験及び解説			問題演習/問題演習の解	说。	
7~12	第2回模擬試験及び解説			問題演習/問題演習の解	<b></b>	
13~18	第3回模擬試験及び解説			問題演習/問題演習の解	説。	
19~24	第4回模擬試験及び解説			問題演習/問題演習の解	說。	
25~30	第5回模擬試験及び解説			問題演習/問題演習の解	說。	
31~36	31~36 第6回模擬試験及び解説			問題演習/問題演習の解説。		
37~42	37~42 第7回模擬試験及び解説 [			問題演習/問題演習の解	說。	
43~48	43~48 第8回模擬試験及び解説			問題演習/問題演習の解	説。	
49~54	49~54 第9回模擬試験及び解説			問題演習/問題演習の解	説。	
55~60	第10回模擬試験及び解	説		問題演習/問題演習の解	说。	
61~66	第11回模擬試験及び解	説		問題演習/問題演習の解	說。	
67~68	総まとめ			弱点部分の復習を行う。		
		到海大头,			<b>房收上水流产</b>	
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意	
	%、平常点40% 準は、A(80点以上)・B(65	点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。		知識・理解が不十分な場合	は、補習授業を行うことがあ	పే
実務	経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発	の現場において8年	<u> </u> F間係わっていた		

科目名			前期検定対		NAME INTO	下八寺 日子収 フラハハ	
担当教員		西海 智久		実務授業の有無		無	
	(情報処理2級対策)	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期	
必修・選	<del>7</del>	必修	単位数		時間数	50	
授業概要、 授業の進		情報処理技術者能力認定試験2級の合格に必要	<b>夏な知識を学ぶ</b> 。				
学習目標 (到達目	票)	情報処理技術者能力認定試験2級レベルの知識	哉を習得する。				
	・教材・参考図書・ その他資料	ウイネット 情報処理技術者能力認定試験2%	及問題集				
回数		授業項目、内容			学習方法・準備学習・	備考	
1~4	第1部演習問題 基礎理	論		問題演習と解説。			
5~11	第1部演習問題 コンピ	ュータシステム		問題演習と解説。			
12~16	第1部演習問題 技術要	素		問題演習と解説。			
17~18	第1部演習問題 開発技	術		問題演習と解説。			
19~20	第1部演習問題 ストラ	テジ		問題演習と解説。			
16~18	16~18 第2部演習問題 情報セキュリティ			問題演習と解説。			
19~25	19~25 第2部演習問題 コンピュータシステム			問題演習と解説。			
26~33	26~33 第2部演習問題 マネジメント			問題演習と解説。			
34~37	第2部演習問題 ストラ	テジ		問題演習と解説。			
38~45	第2部演習問題 データ	構造及びアルゴリズム		問題演習と解説。			
46~50	模擬試験			模擬試験の実施と解説。			
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
	検定結果60%、平常点40% 知識・理解が不十分な場合は、補習授業を行うことがある。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。					<b>ప</b> .	
実務	経験教員の経歴	_					

科目名	<b>後期検定対策</b>						
担当教員		村島 敏治/西海 智	久	実務授業の有無		無	
対象学科		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期	
必修・選技	<b>P</b>	必修	単位数		時間数	51	
授業概要、 授業の進&		応用情報技術者試験、基本情報技術者試験な	よどの情報処理技術者試影	食に合格するための基礎知識	きを学ぶ。		
学習目標	票)	応用情報技術者試験、基本情報技術者試験な	よどに共通宇する基礎知識	哉を習得する。			
	・教材・参考図書・ その他資料	情報処理技術者試験 過去問題(応用情報)	F前、基本情報午前、他)				
回数		授業項目、内容		当	学習方法・準備学習・	・備考	
1~6	第1回模擬試験及び解説			問題演習/解説。			
7~12	第2回模擬試験及び解説			問題演習/解説。			
13~18	第3回模擬試験及び解説			問題演習/解説。			
19~24	第4回模擬試験及び解説			問題演習/解説。			
25~30	第5回模擬試験及び解説			問題演習/解説。			
31~36	1~36 第6回模擬試験及び解説			問題演習/解説。			
37~42	37~42 第7回模擬試験及び解説			問題演習/解説。			
43~48	43~48 第8回模擬試験及び解説			問題演習/解説。			
49~51	総まとめ			模擬試験の実施と解説。			
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評定基準		点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。		課題の提出期限を厳守する。			
実務	経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発	後の現場において 8年	F間係わっていた			

科目名			HTML		III WC > 1171-G	門学校・シラバス	
担	2当教員	西海 智久	5	実務授業の有無		無	
文	村象学科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期	
必	修・選択	必修	単位数		時間数	43	
授業概要、目的、 授業の進め方 HTML、CSS、JavaScriptの概要を理解し、オリシ			ジナルのHPを作成で	する知識・技術を習行	导する。		
	学習目標 別達目標)	HP制作の課題を作成できる。					
	・教材・参考 その他資料	株式会社 マイナビ出版 「これからWebをはじめる人のト	HTML&CSS、J	avaScriptのきほんの	きほん」		
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	·備考	
1~3	Webの開発環境を	整えよう		·		) 学習環境を整える。	
4~6	HTMLとCSSの基本を学ぼう①			簡単な会員入会サ いて学ぶ。	イトを作り、入力フ	ォームやタグ等につ	
7~9	HTMLとCSSの基本を学ぼう②			CSSの基本構造と どを学ぶ。	書式、CSSの設定場	所、スタイルの定義な	
10~12	スマートフォン対応の基本を学ぼう①				スマートフォン独自の基本レイアウトを学ぶ。		
13~15	スマートフォン対応の基本を学ぼう②			スマートフォンに	対応させ、CSSアニ	メーションを学ぶ。	
16~18	CSSフレームワークの基本を学ぼう①				フォーム、ドロップダウンリスト、リストボックス等につ いて学ぶ。		
19~21	CSSフレームワークの基本を学ぼう②				力エリア、リセット	ボタン等について学	
22~24	JavaScriptの基本を	を学ぼう			JavaScriptの基礎を学ぶ。		
25~27	イベントドリブン	の基本を学ぼう		if構文やファンクション、繰り返し実行プログラム等について学ぶ。			
28~30	Ajax通信の基本を	学ぼう		JSONデータ、for構文、Ajax通信、jQuery等について学ぶ。			
31~39	課題制作			HP作成の実習課	HP作成の実習課題を制作する。		
40~43	課題発表			作成したHPのプロ	作成したHPのプレゼンテーション及びその準備を行う。		
	評估	西方法・成績評価基準			履修上の注意		
提出課題7	5%、平常点25%						
成績評定基 る。	基準は、A(80点以上	)・B(65点以上)・C(51点以上)・C	)(50点以下)とす	_ 実習課題の提出期限	を厳守する。		
実務経	験教員の経歴	_		<b>+</b>			

科目名			表計算		~ /// ~	情報ヒンイ人等	表計算基礎					
担	当教員	西海 智久		実務授業の	有無		無					
文	<b>才象学科</b>	情報システム科/IT大学併修科	対象学年		1	開講時期	前期					
必	修・選択	必修	単位数			時間数	48					
	授業概要、目的、 授業の進め方 Excel表計算処理技能認定試験3級の合格に必要な			そな知識を学。	ŝ*.							
	学習目標 (到達目標) Excel表計算処理技能認定試験 3 級レベルの知識を習		哉を習得する。									
	・教材・参考 その他資料	ウイネット Excel2019クイック	マスター、Ex	cel表計算処理	■技能認定	試験3級問題集						
回数		授業項目、内容				プカ法・準備学習 エエリケー・エ						
1~4	Excelの基本、デー	- タの編集		成、数式	の入力、	データの移動とコヒ						
5~8	表の編集、ブックの印刷					の書式設定、表示用 範囲の指定などを第	ジ式の指定、表示モー 学ぶ。					
9~12	グラフの作成					ラフの編集などを覚						
13~16	図形の作成、ブックの利用と管理				図形の作成、図形の編集、ワークシートの管理、ウインド ウの操作などを学ぶ。							
17~20	関数1					<del>3.。</del> 三角関数などを学ぶ	```					
21~24	関数 2			論理関数	論理関数、日付関数などを学ぶ。							
25~28	データベース機能			リストの を学ぶ。	)作成、並 	ベ替え、データの抽 	由出、小計の挿入など					
29~32	練習問題1~2			問題演習	問題演習と解説。							
33~36	練習問題3、模擬	問題 1		問題演習	問題演習と解説。							
37~40	模擬問題2~3			問題演習	問題演習と解説。							
41~44	模擬問題4~5			問題演習	問題演習と解説。							
45~48	模擬問題6~7			問題演習	問題演習と解説。							
	評佰	西方法・成績評価基準				履修上の注意	ž.					
検定結果60	9%、平常点40%											
成績評定基 る。	成績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。			問題演習	はホームワ	ークとなる場合がある	5.					
実務経	験教員の経歴	-										

科目名			表計算		11311/2 - 1 1 2 3 3	口字仪 シブハス	
担	2当教員	西海 智久	5	ミ務授業の有無		無	
文	村象学科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期	
必	修・選択	必修	単位数		時間数	35	
授業概要、目的、 授業の進め方 Excel表計算処理技能認定試験		Excel表計算処理技能認定試験 2 紀	級の合格に必要	な知識を学ぶ。			
	学習目標 川達目標)	Excel表計算処理技能認定試験2編	cel表計算処理技能認定試験2級レベルの知識を習得する。				
	・教材・参考 その他資料	株式会社ウイネット Excel2019 株式会社サーティファイ Excel			重集(2019対応)		
回数		授業項目、内容			方法・準備学習		
1~2	入力補助機能			学ぶ。		、検索と置換などを	
3~5	関数			文字列操作関数、を学ぶ。	データベース関数、	検索/行列関数など	
6~7	グラフ機能				ラフを使ったデータ	予測を学ぶ	
8~9	複数ワークシートの集計			ワークシートの連携やワークシート間の連携を学ぶ。			
10~11	データベース			オートフィル、デ などを学ぶ。	ータの並べ替え、複	雑な条件による抽出	
12~14	データの分析			ワークシートの分の作成、値の予測		ル、値を代入した表	
15~16	処理の自動化			マクロの登録、実			
17~18	レンタルショップ	でのExcel活用例、貸出リストの作	F成	マスターリスト、	入力規則、シートの	保護を学ぶ。	
19~21	貸出リストの分析			データの抽出、分	データの抽出、分析結果のグラフ化を学ぶ。		
22~23	最適化分析と処理	の自動化		ゴールシーク、マクロの操作を学ぶ。			
24~25	総合学習問題			問題演習と解説。			
26~27	2級テーマ別知識	練習問題1~7		問題演習と解説。			
28~29	2級実技練習問題	1~2		問題演習と解説。			
30~31	2級実技練習問題	3 / 2級模擬問題1		問題演習と解説。			
32~33	2級模擬問題2~	3		問題演習と解説。			
34~35	2級模擬問題4			問題演習と解説。			
	評估	西方法・成績評価基準			履修上の注意		
検定結果60	0%、平常点40%						
成績評定基 る。	戏績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。				ークとなる場合がある	•	
実務経	験教員の経歴	_					

科目名			就職実	 努			
担当教員		片野 高史、村島 敏	沿	実務授業の有無		無	
対象学科		情報システム科	対象学年	1	開講時期	後期	
必修・選技	尺	必修	単位数		時間数	54	
授業概要、 授業の進		1. 就職活動に必要は知識、情報を得る。 2. 筆記試験練習(一般常識、SPI、CAB・ 3. 模擬面接(面接練習)を行なう。	GAB)を行なう。		·		
学習目標 (到達目標	票)	実際に就職活動を行なえる。					
	・教材・参考図書・その他資料	ウイネット 勝つための就職ガイドSUCCE	SS				
回数		授業項目、内容		È	学習方法・準備学習・個	備考	
1	就職活動の心構え①			なぜ就職するのか、企業	が求める人材とは、身だした	みなどを学ぶ。	
2	就職活動の心構え②			٠,٤٠٠		登録と校内模擬面接などを学	
3~4	自分と職業を理解する①	)		ライフスタイルを考える、 ぶ	、自己分析で考えるポイント	、自己PRの作り方などを学	
5~7	自分と職業を理解する②	)		業種と職種、仕事と関連	資格、志望動機の作り方なと	ぎを学ぶ。	
8~9	情報収集のポイント、企	業研究の方法		情報の収集方法と活用ポ の見方などを学ぶ。	イント、就職課の利用、就職	<b>結構報サイトの利用、求人票</b>	
10	作成書類①			エントリーシートの書き	方、履歴書の書き方などを覚	±-3%.	
11	11 作成書類②			履歴書の下書きを作成す	გ.		
12	12 企業訪問			企業訪問とは、企業訪問	の準備、アポイントメントの	)取り方などを学ぶ。	
13	13 就職試験			就職試験の概要などを学	Š*.		
14	14 面接試験対策①			面接試験の形式、面接試験	験の受け答えなどを学ぶ。		
15	面接試験対策②			圧迫面接、スピーチの訓	練、本番前の自己チェックな	じを学ぶ。	
16	筆記試験対策			適性検査、一般常識、作	文・小論文などを学ぶ。		
17	受験後の報告			内定したときにすべきこ	と、不合格だったときの振り	返りなどを学ぶ。	
18~19	履歴書の作成			履歴書の清書を完成する。			
	求職票の作成			求職票を完成する。	求職票を完成する。		
23~35	筆記試験問題演習			一般常識試験、SPI、(	一般常識試験、SPI、CAB・GABなどの問題演習を行なう。		
36~54	面接準備、練習			面接の準備をし、模擬面	接を行なう。		
		亚历七计, 产生亚历史类			屋板しの冷さ		
		評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
	%、平常点40% 単は、A(80点以上)・B(65	点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。		履歴書、求職票の提出期限・	を厳守する。		
実務	経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発	その現場において8	年間係わっていた			

科目名	■名 SQL演習							
担当教員	村島 敏治		実務授業の有無		無			
対象学科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期			
必修・選択	必修	単位数		時間数	27			
授業概要、目的、授業の進め方	ISOI 言語を使いデータベースの操作方法を学習し、テキストを用いてSOI のコマンドや文法などの基礎知識を深める。							
授業形態	対面授業							
学習目標 (到達目標)	ICOLの文法とコフンドを受羽し、データベーフを操作できるフセルを曇う							
テキスト・教材・参考図書 その他資料	生・ 技術評論社 『SQL書き方ドリル』	技術評論社 『SQL書き方ドリル』						
回数	授業項目、内容		ÿ	学習方法・準備学習	・備考			
1~2 基本操作			SQLを使ったデータベー	スの操作方法を学ぶ。				
3~4 ひとつのテーブル			単テーブルでのSQL文を	学ぶ。				
5~6 複数のテーブル			複数テーブルでのSQL文	を学ぶ。				
7~9 追加・更新・削除			レコードの追加、更新、	削除を学ぶ。				
10~15 応用問題			実践的なケースを通じて	SQL文を学び応用力を養	ð.			
16~27 練習問題	~27 練習問題			反復練習によってSQL文を身に着ける。				
·	評価方法・成績評価基準			履修上の注意				
課題または試験75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度など 成績評定基準は、A(80点以上)・ 実務経験教員の経歴		場において 8 年間4	課題の提出期限を守ること。	5				

科目名			Python実習	(IoT)		
担当教	· 員	村島 敏治	実	務授業の有無		0
対象学	<u>科</u>	情報システム科/IT大学併修科科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・	選択	必修	単位数		時間数	40
	要、目的、 進め方	Pythonによる基本的なプログラミを行う。	ミング技術を学び	・ 、loTでのプログラミ	ミング演習としてドロ	コーンプログラミング
授業形	態	対面授業 座学及び演習				
学習目 (到達		Pythonでのプログラミングができ IoTプログラミング演習として、		<sup>-</sup> るプログラムを作成	<b></b>	
	スト・教材・参	株式会社ウイネット 『 Python トイドローン 『TELLO』	プログラミング』			
回数		授業項目、内容		学習	7方法・準備学習	・備考
1	Pythonへの入り口			開発環境(ILDE)	のインストール。	
2-3	Pythonの基礎				モードの使い方を学 ータ型、関数、メソ	-
3-5	分岐				基本的な文法を理解す	
6-9	繰り返し			繰り返し文(for,while)の基本的な文法を理解する。 繰り返し文によるリスト(配列)処理を学ぶ。		
10-12	! コレクション				書、タプルのデータ	
13-17					ーカル変数/グロー クトについて学ぶ。	バル変数の違い、引
18-27	7 クラスとオブジェクト			Pythonでのオブジ	ェクト指向プログラ	ミング技術を学ぶ。
28-30	ファイル操作と例	外処理			タ入出力につて学ぶ	
31-33	ライブラリの利用			ライブラリの利用方法と外部ライブラリの活用について学 ぶ。		
34-40	実践的なPythonア	プリケーションの開発		自動航行ドローン制御プログラムの作成演習を行う。		
	平,	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
提出物、 成績評定 する。	学習意欲、授業態度 選基準は、A(80点以	定75%、平常点25% 度などを加味する。 上)・B(60点以上)・C(41点以上)・			はホームワークとなる	場合がある。

<ul><li>(2)</li><li>科目名</li></ul>			プレゼンテ・			門学校・シラバス	
担当教員		西海 智久	1				
対象学科	<u> </u>	西海 智久 情報システム科/IT大学併修科		ミ務授業の有無 2	開講時期	○ 後期	
必修・選		必修	単位数		時間数	—————————————————————————————————————	
授業概要授業の進	、目的、	プレゼンテーションの基礎的な知ぶ。		it2019を使っての効気			
授業形態	{	対面授業と遠隔授業の併用実施					
学習目標 (到達目		PowerPoint2019を使ってのプレ	ゼンテーション	の制作と効果的なプロ	<b>レゼンテーションの</b> 2	スキルを習得する。	
	・教材・参考 その他資料	株式会社ウイネット『PowerPoir	nt2019クイック	マスター』			
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考	
1	プレゼンテーショ	ン概論		プレゼンテーショ	ンの基礎、方法、デ	ウニックを学ぶ。	
2~3	PowerPointの基本操作、プレゼンテーションの作成、文字やスライドの編集			PowerPoint2019	の画面構成、文字・)	スライドの編集を学	
4~5	オブジェクトの作成、表やグラフの作成			図や図形、表やグ	図や図形、表やグラフの作成、編集を学ぶ。		
6~7	表示効果とハイパーリンク、スライドショーの実行			学ぶ。	画面切替やアニメーション効果、ハイパーリンクについて 学ぶ。 画面切替やアニメーション効果の詳細設定、SmartArtの活		
8~9	プレゼンテーションの動作の設定、SmartArtの活用			画面切替やアニメ 用方法について学		設定、SmartArtの活	
10~15	~15 テーマに基づき各自プレゼンテーション作成			プレゼンテーショ	ンを作成し、各自発	法。	
	==: /-				見抜しの冷さ	-	
	高半10 1	西方法・成績評価基準			履修上の注意		
提出物、学 成績評定基 る。		などを加味する。 )・B(60点以上)・C(41点以上)・[	D(40点以下)とす			・ションを制作し、締め	
実務経	験教員の経歴	_					

科目名		プロ	コグラミング	実習 II (Unity)				
担当教員		西海 智久	5	実務授業の有無	☆ ※ ・			
対象学科		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期		
必修・選	択	必修	単位数		時間数	30		
授業概要 授業の進		Unity2022の使用法とC#を学習し	、2Dと3Dゲー	ムアプリを作成する。				
授業形態		対面授業と遠隔授業の併用実施						
学習目標 (到達目標)		D、3Dゲームアプリの課題を作成できる。						
	・教材・参考 その他資料	SBクリエイティブ株式会社 『Ur	nityの教科書 Ur	ity 2022完全対応版』				
回数		授業項目、内容			習方法・準備学習			
1~2	ゲーム作りの準備、Unityのインストール、Unityに触れて慣れよう			Unityでゲームを作 ぶ。	Fる準備、ライセンス	、画面構成等を学		
3~4	C#スクリプトの基礎、スクリプトの第一歩			プロジェクトの作	成、スクリプトの作用	<b></b>		
5~6	~6 変数、制御文、配列を使ってみよう			変数の初期化と代 等を学ぶ。	入、変数同士の演算、	if文、配列のルール		
7~8	メソッド、クラス、Vectorクラスを使ってみよう			メソッド、クラス	メソッド、クラス、Vectorクラスの概要、使い方、応用方 法等を学ぶ。			
9~10	スクリプトの作り方、スクリプトのアタッチ					 等を学ぶ。		
11~12	 				してルーレットが回る	る&止まる方法、ス		
13~14	~14 スワイプで車を動かそう、UIを表示しよう			マートフォンでの	動作等を字ぶ。 イプでの位置認識方》	よ等について学ぶ。 よ		
15~16	UIを書き換える監	督を作ろう、効果音を鳴らそう			フェースの設計、書			
17~18	キー操作でプレイ	ヤを動かそう、当たり判定を学ぼ	<u></u> う	プレイヤのスクリ	AudioSourceコンポーネント等について学ぶ。 プレイヤのスクリプト、当たり判定のスクリプト等について学び			
19~20	Prefabと工場の作	り方を学ぼう		て学ぶ。 Prefabの概要、ジェネレータスクリプト等について学ぶ。				
21~22	Physicsを学ぼう、	アニメーションを学ぼう		-	Physics(物理演算)、Mecanimでのアニメーション等につ			
23~24	Physicsで当たり半	   定を作ろう、シーンの遷移方法		Physicsでの当たり	いて学ぶ。 Physicsでの当たり判定検出、クリアシーンの作成等を学			
25~26	3Dゲームの作り方	、Terrainで地形を作ろう			、Terrainでの地形作	成、テクスチャのペ		
27~28	Physicsでイガグリ	」を飛ばす、パーティクルでエフェ	- クトを表示		子ふ。。 リを飛ばすスクリプ ェクトの表示等につい			
29~30	レベルデザインを	しよう			ータの微調整等につい			
	評価	西方法・成績評価基準			履修上の注意			
成績評定基 る。	習意欲、授業態度 <sup>,</sup> 準は、A(80点以上	)・B(60点以上)・C(41点以上)・C	)(40点以下)とす	_ 課題の提出期限を守	ること。			
実務経	験教員の経歴	_						

科目名	<mark>国名</mark> SQL Server							
担当教員		片野 史高	実	務授業の有無	(			
対象学科		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期		
必修・選択		必修	単位数		時間数	30		
授業概要、ほ授業の進める		SQLサーバーとSQLサーバーマネ 組みや操作方法の習得を図り、テ						
授業形態		対面授業と遠隔授業の併用実施						
学習目標 (到達目標) SQLの文法とコマンドを学習し、SQLサーバ			SQLサーバーを値	吏ってのデータベー.	ス操作方法を習得する	· ·		
	テキスト・教材・参 考図書・その他資料 『SQL Server 2016の教科書』							
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考		
1~3 SQL+	ナーバーの概	要とインストール		SQLサーバーの概	要、インストールと弱	環境設定をする。		
4~6 インス	ストール後の	構成		管理ツール、動作	確認、フォルダ構成を	を確認する。		
7~8 SQL+	ナーバーを使	ってみる		SELECT、UPDAT する。	E、DELETを使ってS	QLサーバーを体験		
9~10 正規(				正規化、関数従属とキー、正規化の手順を学ぶ。				
11~15 制約	11~15 制約				刊約、UNIQUE制約、( 刊約について実証して!			
16~19 SQL	16~19 SQLステートメントの基本			データを並べ替え かの演算子を学ぶ	る(ORDER BY)、	WHERE句、そのほ		
20~23 SQL	20~23 SQLステートメントの応用				プ化、複数テーブル <i>α</i> 、3つ以上のテーブル			
24~28 =-=	ブル関連の操	作とデータのインポート・エクス	ポート	IDENTITYプロパティ、TRUNCATE TABLE、DEFAULT 値、CSVファイルのエクスポート、データインポートを学				
29~30 照合川	頂序、データ	型 型		照合順序、データ型を学ぶ。				
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意			
成績評定基準にする。	i欲、授業態 t、A(80点以	点25% 度などを加味する。 上)・B(60点以上)・C(41点以上)・	,	課題の提出期限を守				

科目名	<mark>名</mark> Webプログラミング(WordPress)							
担当教	<del>具</del>	片野 史高	実	務授業の有無		0		
対象学	科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期		
必修・	選択	必修	単位数		時間数	30		
授業概! 授業の!	要、目的、 進め方	CMS(コンテンツ・マネジメント	・システム)の概覧	要を理解する。				
授業形	授業形態 対面授業と遠隔授業の併用実施							
学習目標 (到達目標) WordPressを使ったホームページの構築を目標とす			する。					
考図書	キスト・教材・参 図書・その他資料 株式会社ソーテック社 『いちばんやさしいWordPress入門教室』							
回数		授業項目、内容			方法・準備学			
1	WordPressの初期	設定		開発環境の準備を トールをする。	する。XAMPPのタ	<b>゙</b> ウンロード、インス		
2	投稿ページを作る			カテゴリー設定、		ロックエディターを学		
3	固定ページを作る					成し、ブロック機能を		
4~8	4~8 問合せページを作る			拡張してページを作成する。 メールフォーム、お問い合わせページ、自動送信メール設定、プライバシーポリシーを作成する。 トップページの構成、スライドショーの設置、トップペー				
9~13 トップページを仕上げる			ジのコンテンツを	作成する。				
14~17 共通パーツを設定する			置、ウィジェット	の種類を学ぶ。	にウィジェットを設			
18~27 Webサイト運用の知識			SSL、バックアッ SNSとの連携を学		対策、アクセス解析、			
28~30	応用例			付属のテーマを活		トの作成例、飲食店サ の作成例を学ぶ。		
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	意		
提出物、 成績評定 する。		度などを加味する。 上)・B(60点以上)・C(41点以上)・ オープン系システム開発運		課題の提出期限を守		\ <i>t</i> -		

② <mark>科目名</mark>			Java Scr			円字仪 ンフハス	
担当教	<u>員</u>	片野史高	実	務授業の有無		0	
対象学	科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期	
必修・	選択	必修	単位数		時間数	50	
授業概	要、目的、 進め方	Java Scriptの基礎を学び、ホー <i>L</i> 図る。	ュページ制作におり	ナるHTMLやCSSとの	D関連も含めて知識	の向上と技術の習得を	
授業形	態	対面授業と遠隔授業の併用実施					
学習目		Java Scriptを使ったホームペーシ	<sup>ジ</sup> の制作ができるこ	ことを目標とする。			
	ト・教材・参	SBクリエイティブ株式会社 『マ	確かな力が身につ	<javascript「超」)< td=""><td><b>\</b>門』</td><td></td></javascript「超」)<>	<b>\</b> 門』		
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考	
1~2	Java Scriptsの導 <i>)</i>			JavaScriptの概要を する。	を学び、ツール、サ	ンプルデータの設定を	
3~4	アウトプットの基	<b>本</b>		記述方法、ルール	を学ぶ。		
5~9	文法と基本的な機	能①				件分岐IF、条件分岐	
10~14	14 文法と基本的な機能②			elselFなどを学ぶ。 比較演算子、データ型、論理演算子、繰り返し、ファンクションなどを学ぶ。			
15~19	~19 文法と基本的な機能③				・ 力、プロパティ読み	取りなどを学ぶ。	
20~24	)~24 インプットとデータ加工		(Date)、少数第	容を取得、イベント ○位で切捨(Math)	)などを学ぶ。		
25~29	25~29 一歩進んだテクニック		カウントダウンタ・	イマー、プルダウン	メニュー、クッ		
30~34	jQueryの導入(1)			キー、イメージ切替、スライドショーなどを学ぶ。 開閉式ナビメニュー、ドロワー(CSSアニメ)などを学 ぶ。 空席状況チェック(Ajax、JSON)などを学ぶ。			
35~40	jQueryの導入(2)						
41~50	外部データを活用	したアプリケーション		位置情報、WebAP	を学ぶ。		
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
提出物、 成績評定 する。		度などを加味する。 上)・B(60点以上)・C(41点以上)・		課題の提出期限を守む			
実務紹	経験教員の経歴	オープン系システム開発運	]用において7年	三間、Web系に89	年間関わってい	<i>t</i> =	

		PHP				
坦当教員	片野 史高	実	務授業の有無		0	
対象学科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期	
必修・選択	必修	単位数		時間数	30	
受業概要、目的、受業の進め方	PHPの基礎知識とSQL接続を学ぶ	<b>*</b> 0				
受業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施					
学習目標 (到達目標) PHPの基本的な知識を学び、アンケートシステムを			を構築する。			
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	株式会社リックテレコム 『	いきなりはじぬ	SPHP]			
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考	
1 PHPの概要			サーバーサイド言	語としてのPHPの概	要を学ぶ。	
2 環境設定			Xamppをダウンロ	ード、インストール	 、設定する。	
3~4 HTML、CSS			HTML、CSSの基	旋を学ぶ。		
5~8 入力ページ	入力ページ			入力ページを作成する。		
9~10 データの受取	データの受取			~ŝî°。		
11~12 変数	2 変数			ピーする。		
13~14 入力チェック機能	1     入力チェック機能					
15~16 項目の追加			項目の追加・削除を方法を学ぶ。			
17~18 ページ移動			history.backを学ぶ。			
19~20 入力データのチ	ェック		else命令を学ぶ。			
21~22 サンクスページ			文字列の連結方法	を学ぶ。		
23~24 自動返信メール			mb_send_mailを	学ぶ。		
25~30 データベース			phpMySQL操作方	法を学ぶ。		
	平価方法・成績評価基準			履修上の注意		
果題または試験75%、平常 是出物、学習意欲、授業類 戏績評定基準は、A(80点」 する。		D(40点以下)と	課題の提出期限を守	ること。		
実務経験教員の経歴	オープン系システム開発運	用において7年	<u> </u> 拝間、Web系に8	年間関わっていた	ā	

科目名			Linux				
担当教	員	片野 史高	実	務授業の有無		0	
対象学	科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期	
必修・	選択	必修	単位数		時間数	44	
	授業概要、目的、 授業の進め方 Linux(CentOs)をインストールし、Webサーバー			・ ーを構築しながら基準	本操作を学ぶ。		
授業形	態	対面授業と遠隔授業の併用実施					
	学習目標 (到達目標) Linuxの基本的なコマンドを覚える。						
	ト・教材・参 ・その他資料	株式会社技術評論社 『ゼロから	っわかるLinuxWel	)サーバー超入門』			
回数		授業項目、内容		学習	アンス	習・備考	
1	デュアルOS(Win	dowsとLinux)		Hyper-Vをダウンに	コード、インスト-	-ルする。	
2	サーバーOSについ	17		CentOSをインスト	ールする。		
3~22	CentOS、ファイル	レを操作する		ファイルを操作す	るコマンドを学ぶ。	,	
23~27	rootユーザーにつ	いて		ユーザーとグループを学ぶ。			
28~29	~29 Webサーバーを立てる			WebサーバーApac	cheをインストール	、設定をする。	
30~31	~31 セキュリティ			ファイヤーウォー	ルの設定をする。		
32~33	~33 ブラウザから接続する			IPアドレスでアク			
34~36	viエディタを使う			viエディタを利用しる。	viエディタを利用してhtmlファイルをサーバー上で編集する。		
37~39	リモートから操作			SSHでリモートから操作する。			
40~42	ファイル転送			TeraTermやWinSCPを使ってファイルを転送する。			
43~44	PHPを使う			PHPをインストール、設定し動作確認をする。			
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<b></b>	
提出物、 成績評定 する。				課題の提出期限を守			

科目名	PC設定						
担当教	Ę	片野 史高	実著	<b>努授業の有無</b>		0	
対象学	科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期	
必修・	選択	必修	単位数		時間数	10	
授業概.	要、目的、 進め方	各自のノートPCの環境設定を行	なう。				
授業形	態	対面授業と遠隔授業の併用実施					
学習目標 今後の授業に必要な環境を構築する。							
	テキスト・教材・参         考図書・その他資料						
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学	習・備考	
1~5	ノートPCの環境	設定①		Office 365のダウンロ	コード、インストール	、設定、動作確認。	
6~10	ノートPCの環境	設定②		Ms Teamsのダウンロード、インストール、設定、動作確認。 Access2016のインストール、動作確認。			
				7100033201013   7 7	1 7. ( B)   PE PO		
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u>.</u>	
成績評定 する。	学習意欲、授業態原 基準は、A(80点以	度などを加味する。 上)・B(60点以上)・C(41点以上)・ オープン系システム開発運		各自/ートP C を用: 問 Weh 至 (- 8:		<i>t-</i>	

<mark>科目名</mark>		Access	基礎		
担当教員	片野史高	J	ミ務授業の有無		0
対象学科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	Accessビジネスデータベース技能	<b>₺認定試験</b> 3級 <i>0</i>	)合格に必要な知識を	学ぶ。	
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
学習目標 (到達目標)	Accessビジネスデータベース技能	<b>ド認定試験3級</b> Ι	<b>ノベルの知識を習得す</b>	る。	
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	株式会社ウイネット 『Access2	2019クイックマン	スター』『Accessビシ	<sup>;</sup> ネスデータベース <u>†</u>	技能認定試験問題集』
回数				方法・準備学習	
1~2 Accessの基本操作	乍、データベースファイルの作成		Accessの起動、デ ファイルの新規作		クト、データベース
3~4 テーブル				成、主キーの設定、	フィールドの追加、
5~6 クエリ				択クエリの新規作成	、並べ替え、抽出、
7~8 フォーム、レポー	- ト		フォームの概要、	フォームの新規作成	、編集、レポートの
9~10 リレーションシッ	· プ、マクロ		リレーションシッ		を学ぶ。 の結合、マクロの概
11~12 アプリケーション	*活用			と実行などを学ぶ。 計、テーブルの作成 を学ぶ	、入力画面の作成、
13~15 実技練習問題 1			問題演習と解説。	€ ±.2,0	
16~18 実技練習問題 2			問題演習と解説。		
19~21 実技練習問題 3			問題演習と解説。		
22~24 実技練習問題 4			問題演習と解説。		
25~27 模擬問題 1			問題演習と解説。		
28~30 模擬問題 2			問題演習と解説。		
31~33 模擬問題 3			問題演習と解説。		
34~36 模擬問題 4			問題演習と解説。		
37~39 模擬問題 5			問題演習と解説。		
40~42 模擬問題 6			問題演習と解説。		
43~60 検定受験対策			弱点強化、配点、	ポイントの見直しを	する。
	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
μТ	画/J/A PA限引			一個ツエッルス	
検定結果75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態 成績評定基準は、A(80点以 する。		・D(40点以下)と	問題演習はホームワ	ークとなる場合がある	o
実務経験教員の経歴	-				

科目名	Access応用						
担当教	員	片野史高	実	<b>努授業の有無</b>		0	
対象学		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期	
必修・	選択	必修	単位数		時間数	36	
授業概: 授業の:	要、目的、 進め方	Accessビジネスデータベース技能	認定試験2級の台	合格に必要な知識を	学ぶ。		
授業形	授業形態 対面授業と遠隔授業の併用実施						
学習目標 Accessビジネスデータベース技能認定試験2級レベ			ベルの知識を習得す	る。			
	ト・教材・参	株式会社ウイネット 『Access20	)16クイックマス	ター』『Accessビシ	<sup>ジ</sup> ネスデータベース:	技能認定試験問題集』	
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考	
1~3	実技練習問題1、	テーマ別知識練習問題1・2		問題演習と解説。			
4~6	実技練習問題2、	テーマ別知識練習問題3・4		問題演習と解説。			
7~9	実技練習問題3、	テーマ別知識練習問題5・6		問題演習と解説。			
10~12	実技練習問題4、	テーマ別知識練習問題7		問題演習と解説。			
13~17	17 模擬問題 1			問題演習と解説。			
18~22	模擬問題 2			問題演習と解説。			
23~27	模擬問題3			問題演習と解説。			
28~36	検定受験対策			弱点強化、配点、	ポイントの見直しを	さする。	
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>	
提出物、 成績評定 する。	食定結果75%、平常点25% 是出物、学習意欲、授業態度などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)と				一クとなる場合がある	5.	

科目名			就職実務			口字仪 ンフハス
担当教	員	片野史高	実	務授業の有無		0
対象学	科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・	選択	必修	単位数		時間数	70
	1. 就職活動に必要は知識、情報を得る。授業概要、目的、2. 筆記試験練習(一般常識、SPI、CAB・GAI3. 模擬面接(面接練習)を行なう。4. SNSリスクを学ぶ。			を行なう。		
授業形	態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
学習目		実際に就職活動を行なえる。				
	ト・教材・参・その他資料	株式会社ウイネット 『勝つため 就職筆記試験対策問題集』	の就職ガイドSU	CCESS』『専門学校	き生のための	
回数		授業項目、内容			方法・準備学習	
1	就職活動の心構え	1		なぜ就職するのか. どを学ぶ。	、企業が求める人材	とは、身だしなみな
2	就職活動の心構え	2		就職活動の流れ、 校内模擬面接など	を学ぶ。	諸注意、求職登録と
3~4	自分と職業を理解	する①		フィフスタイルを 己PRの作り方など		考えるポイント、自
5~7	自分と職業を理解する②			業種と職種、仕事と関連資格、志望動機の作り方などを学 ぶ。 情報の収集方法と活用ポイント、就職課の利用、就職情報		
8~9	情報収集のポイント、企業研究の方法			活用ボイント、就職 人票の見方などを学		
10	作成書類①				の書き方、履歴書の	
11	作成書類②		履歴書の下書きを	作成する。		
12	企業訪問			企業訪問とは、企力などを学ぶ。	業訪問の準備、アポ	イントメントの取り
13	就職試験			就職試験の概要な	どを学ぶ。	
14	面接試験対策①			面接試験の形式、面接試験の受け答えなどを学ぶ。		
15	面接試験対策②			圧迫面接、スピーチの訓練、本番前の自己チェックなどを   学ぶ。		
16	筆記試験対策			適性検査、一般常識、作文・小論文などを学ぶ。		
17	受験後の報告			内定したときにすなどを学ぶ。	べきこと、不合格だ	ったときの振り返り
18~19	履歴書の作成			履歴書の清書を完	成する。	
20~22	求職票の作成			求職票を完成する。	•	
23~35	筆記試験問題演習			一般常識試験、SF	Yl、CAB・GABなどの	の問題演習を行なう。
36~50	面接準備、練習				模擬面接を行なう。	) All
51~70	企業研究			企業研究をして受深める。		し、企業への理解を
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
提出物、 成績評定 する。	基準は、A(80点以	度、就職活動などを加味する。 上)・B(60点以上)・C(41点以上)・		履歴書、求職票の提		
実務経	経験教員の経歴	オープン系システム開発運	用において7年	F間、Web系に8	年間関わってい7	<i>t</i> =

科目名			AI概論			
担当教	Ę	佐藤 修一	<mark>実</mark>	務授業の有無		0
対象学	科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・ <del>)</del>	選択	必修	単位数		時間数	24
授業概要	要、目的、 進め方	①授業の目的…AI(人工知能)へておくべき事項を理解する。 ②授業の進め方…「講義(知識習本とする。				
授業形	能	遠隔授業の実施				
学習目標 ①人工知能(機械学習)による予測や識別のAIモデルを、Python言語を使用して記述できる。 ②サーティファイが主催する「AI検定」について、検定の受験対策を自らで計画・遂行できる						
	<ul><li>ト・教材・参考</li><li>・その他資料</li></ul>	①新潟人工知能研究所 オリジナ ②サーティファイ「AIリテラシー				
回数	1 1 1 2 1 1	   授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習・備考
1~3	AIの開発基盤・Py	rthonの基礎				全体像を把握する。
	データの前処理・			分析対象となるデ		処理と可視化を行うと
7~9	機械学習の学習と	予測		機械学習における	による仮説を立て 、学習と予測のス 、との違いを理解す	テップを学び、従来型
10~12	2 教師あり学習(回帰・分類演習)				解して、教師あり学習	
13~15	15 教師なし学習(クラスタリング・主成分分析演習)		の手法を学ぶ。		解して、教師なし学習	
16~18	画像認識(ニュー	ラルネットワーク演習)		る物体を認識・分	類する手法を学ぶ	
19~21	強化学習(Q-Lea	rning演習)		を実践する。		題材にして、その理論
22~24	自然言語処理(BE	ERT・Transformer演習)		自然言語を扱うた 会実装について検		び、自然言語処理の社
	=π	<b>佐子法,武德</b> 郭伊甘淮			屋板 しの注	<del></del>
	āŤ	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
成績評定する。		上)・B(60点以上)・C(41点以上)		授業への参加状況、	学習意欲を加味して評	3演習課題の提出状況に、 平定を行います。

科目名			ビジネスプ	文書		
担当教		若井彩香	実	務授業の有無		無
対象学	科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・	選択	必修	単位数		時間数	18
授業概.	要、目的、 進め方	ビジネス文書検定3級の合格に必	要な知識を学ぶ。			
授業形	対面授業と遠隔授業の併用実施					
	学習目標 (到達目標) ビジネス文書検定3級レベルの知識を習得する。					
考図書	キスト・教材・参 図書・その他資料 株式会社早稲田教育出版 『ビジネス文書検定受験ガイド、ビジネス文書検定実問題集』					
回数		授業項目、内容		学習	プ <mark>方法・準備学習</mark>	習・備考
1	表記技能①			総合、常用漢字、	現代仮名遣い、送り	仮名などを学ぶ。
2	表記技能②			一般の用語、同音! どを学ぶ。	異義語、異字同訓語	語、慣用の手紙用語な
3	表現技能①			類義語の使い分け、	、表題、箇条書き、	図表などを学ぶ。
4	表現技能②			敬称、尊敬語、謙譲語、丁寧な言葉遣い、手紙のエチケットなどを学ぶ。		
5~6	実務技能				書、受発信事務、機	機密文書、郵便などを
7~12	第1~2回模擬試	験		問題演習と解説。		
13~18	第3~4回模擬試	験		問題演習と解説。		
	評(	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
検定結果	75%、平常点25%					
成績評定 する。	基準は、A(80点以	上)・B(60点以上)・C(41点以上)・	D(40点以下)と			
実務経	経験教員の経歴	-		•		

2			長	情報ビジネス専	門学校 シラバス
<mark>科目名</mark>		社会人常	哉マナー		
担当教員	若井彩香		実務授業の有無		×
対象学科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	一般常識や社会人として必要とな	なるビジネスス	キルを学ぶ。		
学習目標 (到達目標)	1.組織図、一般常識、敬語の種類				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	全国経理教育協会 社会人常識 最新過去問題集3級、その他配布		スト2・3級、全国経	理教育協会 社会人	常識マナー検定試験
回数	授業項目、内容	具件	兴汉	方法・準備学習	. 供 孝
1 社会常識1 社会				党や雇用形態をテキ	
2 社会常識2 仕事			とに学ぶ。 目標を持つことの	重要性や組織につい	てテキストや配布資
			料をもとに学ぶ。 基本的なビジネス	用語や計算、県庁所	在地、漢字について
	知識、ビジネス計算		プリントでの書き		
4 社会常識4 職場	のマナー		とに学ぶ。		や配布資料をもとに
5 社会常識5 来客	応対		学ぶ。その後確認	プリントを実施する	•
6 社会常識6 電話	応対		に学ぶ。その後確	け方についてテキス 認プリントを実施す	る。
7~10 社会常識7 過去	問題1~8、解説		社会人常識マナー	検定 最新過去問題	集第21回~28回を時
===	/本大法,			屋板上の済立	
評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
検定結果70%、課題15%、 成績評価基準は、A(80点り する。	学習意欲15% (上)・B(60点以上)・C(41点以上)	・D(40点以下)	理解を深める。検定		"リントを実施し要点の 宅学習として課題の配
実務経験教員の経歴			1		

2	1			長岡公務員・	情報ビジネス専	7門学校 シラバス	
科目名			ビジネス著	作権			
担当教		片野史高		務授業の有無		無	
対象学		情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期	
必修・	選択	必修	単位数		時間数	33	
	要、目的、 進め方	サーティファイ『ビジネス著作権 解・具体的な裁判例・ビジネス実					
受業形	態	対面授業と遠隔授業の併用実施					
学習目標 サーティファイ 『ビジネス著作権検定ベーシック』合格を目標とする。							
	ト・教材・参 ・その他資料	株式会社ウイネット 『ビジネス 著作権初級問題集』	く 著作権検定ベー	シック初級テキスト。	』、株式会社サーテ	-ィファイ 『ビジネ	
回数		授業項目、内容		学習	了方法・準備学習	♂・備考	
1	著作権の概要			検定内容、範囲、	著作権の性質を学ぶ	\$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
2~3	著作物の定義と著	作者の定義		著作物の種類、著	作者と著作権者など	ごを学ぶ。	
4~7	著作者の権利			人格権、公表権を	はじめ様々な著作者	音の権利を学ぶ。	
8	保護期間			保護期間と登録制	保護期間と登録制度、国際的保護を学ぶ。		
9~10	)譲渡と利用許諾			著作権の譲渡に関	わる注意、共同著作	作、権利消滅を学ぶ。	
11~13	13 権利制限規定			著作権の制限を学	~ડે <b>ં</b> °,		
L4~15	著作隣接権			隣接権の内容、制	限、保護期間を学。	,	
16~17	著作権の侵害			侵害、侵害罪、民	侵害、侵害罪、民事的対策を学ぶ。		
18	知的財産権制度と	情報モラル		情報モラルと著作権、プライバシーに関する制度を学ぶ。			
19~33	練習問題			ベーシック・初級	問題集を解く。		
						_	
		価方法・成績評価基準			履修上の注意	놐	
IA == 41 =					- //支   ・シューマン/工 た	54	
提出物、		度などを加味する。 上)・B(60点以上)・C(41点以上)・	・D(40点以下)と		ることも多いので、衤 服していくことで力々	東習問題をしっかり取り を養う。	
実務紹	経験教員の経歴	オープン系システム開発運	用において7年	<u>↓</u> 拝間、Web系に8	年間関わってい	<u></u> た	

科目名	卒業研究						
担当教	員	片野 史高	実	務授業の有無		0	
対象学	科	情報システム科/IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期	
必修・	選択	必修	単位数		時間数	275	
授業概	要、目的、 進め方	各グループで研究テーマを選定し	、アプリケーシ:	ョンソフトを制作す	3.		
授業形	能	対面授業と遠隔授業の併用実施					
学習目標 アプリケーションソフトを完成させ、発表会にてプレゼンを行なう。							
考図書	スト・教材・参 研究テーマに沿って、各自で用意する。 書・その他資料						
回数		授業項目、内容			では、 などのし、 サロフ		
1~20	テーマ選定			卒業研究のテーマ る。	を選疋し、共同研	究のグループを決定す	
21~30	計画立案			日程計画、役割分	担などの計画を策り	定する。	
31~100	制作			制作を行う。			
101~106	中間発表会			中間発表を行う。			
107~259	制作			制作を行う。			
260~275	発表会			最終発表を行う。			
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	意	
提出物、 成績評定 する。		度などを加味する。 上)・B(60点以上)・C(41点以上)・ オープン系システム開発運		- 問 Wah玄1-0	午問悶わって」	\ <del>-</del>	